

# 福祉体験学習 心の病気学ぶ

志布志・森山小

志布志市志布志の森山小学校で11月30日、福祉体験学習があった。その地区障がい者等基幹相談支援センターのピアサポーターが講師になり、心の病気について理解を深めた。

5、6年生6人が参加。ピアサポーターは精神障害の経験を生かし、同じ立場の患者らを支援する役割があり、宮田一真さん、鮫島博美さん、唐田雄太郎さんが来校した。宮田さんらは病気の原因や症状を説明。早

めの相談や予防には自分をほめるくせをつけることなどが大事と訴えた。6年の鎌田健汰君は「自分を責めたり、マイナスに考えたりしてはいけないと分かった」と話した。車いすやパラリンピックの正式種目「ボッチャ」の体験もあった。  
(永野雄一)



ピアサポーターの話を聞く児童  
＝志布志市の森山小学校

◆ネット依存の怖さ 睡眠時間、学力、視力